

氏名： 玉谷 直子 (TAMATANI Naoko)  
所属： 人間発達教育研究センター  
職名： 講師  
学位： 修士 (人文科学)  
専門分野： 高等学校教育, 社会科教育, 国際理解教育  
E-mail： tamatani.naoko@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

高大接続/附属間連携/インターンシップ/歴史教育/国際理解教育  
School Internship / Historical Education / International Education

#### ◆主要業績

総数 (5) 件

- ・米田俊彦・玉谷直子「高大連携教育研究」『年報』第1号お茶の水女子大学人間発達教育研究センター
- ・附属間連携研究「中高社会科接続期の研究」『年報』第1号お茶の水女子大学人間発達教育研究センター
- ・「2008年度連携研究の概要」『研究集録』第1号 お茶の水女子大学人間発達教育研究センター子ども発達教育研究部門
- ・「外国人生徒受け入れの試み - その5-」『研究紀要』第53号お茶の水女子大学附属高等学校
- ・「地理歴史科及び公民科の授業と強化支援に関する報告(「外国人生徒受け入れの試み - その6-」の第5章)」『研究紀要』第53号お茶の水女子大学附属高等学校

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

2008年度は、2003年度以来取り組んできた外国人生徒への指導に関する研究のまとめを行った。母語、日本語ともに十分には発達していた生徒に対する効果的な支援のあり方を、担任、教科(地歴公民科)指導の視点から、それぞれまとめた。

また、2005年度以来取り組んできた学校史資料を利用した研究も継続して行っている。

人間発達教育研究センターの講師として、高大連携及び附属間連携に関する調査研究のとりまとめを担当した。いずれも、2008年度は調査データの蓄積の段階にあり、人間発達教育研究センターの年報にて、2008年度の活動報告及び研究状況の中間報告を行った。

I wrote two papers about JSL students who had studied in Ochanomizu University Senior High School since 2003. The students didn't have enough ability of native language. I report our struggles for support their school lives, and I suggest some means to teach history or some subjects to JSL students.

Trying to use historical material of our high school in our history class is going on.

As the member of ORC, I joined the some researches for attached schools.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

教職科目である「生徒指導の研究」を担当した。「生徒」の視点からではなく、「教員」の視点から学校における指導を見つめ直す機会となるよう、授業の構成・手法を工夫した。具体的には、面談や進路相談、生活指導などのロールプレイを行った。

また、教育科学コースの「教育科学特殊講義」のTTに入り、附属学校へのインターンシップ活動の指導補助を行った。

I taught "research for student guidance", it's a subject of educational curriculum. I aimed that students gain the viewpoint of not only students but teachers. So I brought roll-playing and simulation of interview in the class.

And I support the class of teacher training.

## ◆研究計画

高大連携事業の中で蓄積しているデータを、日々の高校での指導に生かす方策を検討したい。  
また、現在「環境」「食育」「論理的思考力の育成」「中高社会接続期の研究」「発達支援」の5つが立ち上がっている附属間連携研究が、それぞれ大学とも共同し、一層の成果をあげられるよう工夫していきたいと考えている。

## ◆メッセージ

お茶の水女子大学は教員養成系の大学ではありません。しかし、特に中学校高校の教員を目指している人にとっては、恵まれた環境だと思います。なぜなら、高度な教科専門性を身につけつつ、教職に関する知識や経験を蓄えることもできるからです。

教員になりたいかどうか、まだはっきりしない人も、お茶大で自分と向き合いながら、勉強してみませんか？